

旧浜脇中学校利活用に関する サウンディング型市場調査の対話結果の公表

1. サウンディング型市場調査実施の経緯

本調査は、浜脇中学校が閉校となり、財産有効活用の可能性について市場性を調査するとともに、今後の方針についてあらゆる選択肢を排除することなく検討するため、管理教室棟、体育館及びグラウンドの利活用について、民間事業者のノウハウや自由な発想に基づく意見・提案を求めるため実施しました。

なお、個別対話でいただいた具体的な提案内容については、知的財産権保護の観点から公表を差し控えます。

2. 調査対象施設

旧浜脇中学校（別府市大字浜脇 1208 番地）

3. サウンディング型市場調査のスケジュール

サウンディング型市場調査実施の公表	令和 4 年 7 月 27 日（水）
事前説明会・現地見学会の開催	令和 4 年 8 月 8 日（月）
対話の実施	令和 4 年 9 月 14 日（水）・15 日（木）

4. サウンディング型市場調査の参加者

（1）事前説明会・現場説明会参加者

開催日時 令和 4 年 8 月 8 日（月）

場 所 旧浜脇中学校

参 加 者 3 事業者

内 容 事前説明会（調査の概要、敷地、施設等の説明など）
現地見学会（旧浜脇中学校施設内の見学）

（2）対話参加者

実施期間 令和 4 年 9 月 14 日（水）・15 日（木）

参 加 者 2 事業者

5. 対話結果の概要

民間事業者から提案された主な概要は次のとおりです。

利活用の概要について

教育施設における人材育成に関する提案や複合型スポーツ施設の運営に関する提案をいただきました。

事業の概要

- ・教育・学習支援に関する事業
- ・スポーツ医療や介護に関する事業
- ・スポーツ等に関係した障がい福祉・子育て支援に関する事業

その他

事業期間について10年以上を希望

6. 対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査では、人材育成に関する提案やスポーツ関連事業に関する提案をいただきました。

今後、市としましては対話の結果を参考に、本市内部での協議・検討を行い、旧浜脇中学校の財産有効活用の可能性について、引き続き検討してまいります。